

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 西日本産業貿易コンベンション協会	所管課	産業経済局 MICE推進課
-----	-------------------------	-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>内外の工業製品等の展示紹介を通じて西日本地域の産業の高度化と貿易の振興に資するとともに、本市におけるコンベンションの誘致、支援等を通じて地域の活性化及び文化の向上に資することにより、本市の経済政策を支援し、にぎわいと活力あふれるまちづくりに貢献する。</p>	<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後、策定を予定している、観光振興の柱となる新たなプランに基づき、コンベンションをはじめとしたMICE（※）事業の強化に取り組む。 また、より効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合も視野に入れた機能強化について検討する。</p> <p>※MICE…企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議や全国規模の大会、学会等（Convention）、展示会・見本市、様々なイベント（Event/Exhibition）の頭文字をとった用語で、多くの集客・交流が見込めるものを言う。</p>
---	--

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	MICE開催拠点である小倉駅新幹線口国際コンベンションゾーンを一体的に運用し、積極的にMICEを推進することにより、産業振興・国際化の推進・にぎわいづくりに貢献する。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
3施設の来場者数	89万人	75万人	93万人	75万人	76万人	77万人	77万人

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）			
団体における評価	<p>積極的にMICE誘致に取り組み、コンベンション誘致件数が前年度を上回るとともに、展示場、会議場の稼働率向上に貢献した。 その結果、多様なMICE開催が実現するとともに、市内外からの集客を向上し、3施設の来場者数は過去最高となり、にぎわいや活力あるまちづくりに貢献した。</p>	市の評価	<p>平成26年度は、「プラレール博 IN KITAKYUSHU」（来場者約43,000人）、「からだのひみつ大冒険2014」（来場者約121,000人）などを開催し、来場者数の目標値を大幅に上回り、小倉駅新幹線口のにぎわいづくりに大きく貢献した。</p>
今後の課題及び見直し内容	<p>①協会主催事業は、北九州市の新成長戦略や国・県の産業政策の動向を踏まえ、既存事業の充実、新事業の開発等に取り組む。 ②学会・大会などの誘致はキーパーソンへの積極的な営業活動等に取り組む。 ③施設利用者については、過去の利用者の復活など営業強化に取り組む。 以上のような改善に取り組むことで、さらに貸館利用件数・稼働率・来場者数の増加を図り、北九州市のにぎわい、活力あるまちづくりに貢献する。</p>	団体への改善指導内容	<p>今後さらなる国際会議・学会、企業等研修・セミナーといったMICE誘致を推進するとともに、産学官との連携強化やキーパーソン等への積極的な営業活動に取り組むことで、国際会議場の利用件数の増加を図るよう求めていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	—
効果的・効率的な誘致・集客体制を図るため、観光関連団体等との連携や統合を含めた機能強化の検討を行っている。	